市政は市民のために。

令和7年
5月発行
第75号

西宮市議会議員　6期21年

田中まさたけ

正　　剛　市政・市議会報告

ホームページもご覧ください。
https://masatake.jp/
田中まさたけ　検索

YouTube

「公務員主導政治」からの脱却―市民負担の軽減に向けて

西宮市100年の歴史の中で初めて、新年度当初予算が否決されました。
市民生活よりも公務員の処遇を優先するような政治は、終わらせなければなりません。
私は、22年前の初当選以来、公務員の聖域にも踏み込む改革を提言し続けてきました。
皆様とともに「真の改革」を実現するために、西宮市の実態をこれからもお伝えし続けます。

掲載内容
●新年度予算の争点　●議員定数の削減実現　●環境副大臣 中田宏参議院議員と対談
●地域コミュニティの醸成　●防災・食物アレルギー対応　●市立中央病院職員の厚遇問題

”なれ合い”を排して判断。西宮市、初の当初予算否決、修正。

現在の西宮市は、財政を悪化させたにもかかわらず、市職員の厚遇には手を付けずに、公共施設の使用料値上げなど住民にだけ負担を強いています。そして、阪神・淡路大震災直後の1995年度を除いて過去最高となる約2227億円の令和7年度一般会計予算案が提案されました。そこで、私が所属する会派「啓誠会」は、以下の点を問題視し、その当初予算案に反対しました。

●令和8年度の全中学校の部活動廃止を前提とした準備予算（令和7年度：約6,050万円）
●市立中央病院閉鎖後に県立の統合新病院へ転職する職員への「5年間の現給保障」（総額：約4億6,600万円）
●「（仮称）宮っ子つながり支える条例」制定後に検討される新たな相談機関の設置（事業費見込み：年間約3,000万円）
●緊急性の低い市立中央図書館の移転を一方的に進めようとする債務負担行為（約1,300万円）
●国の交付金を活用した「就学前児童給付事業」に占める過度な事務委託料（約3,260万円）

その結果、**市制施行100年の歴史上で初めて、当初予算案が市議会で否決され、問題視していた内容が修正された予算が可決しました。**今後も私は、市との「なれ合い」を排し、生活者の視点で是々非々の議論・判断をしてまいります。

当初予算に対する全議員の採決態度

（敬称略。黒文字：賛成、白文字：反対）

野口 共産党	中尾 市民クラブ	河崎 市民クラブ	花岡 市民クラブ	大原 公明党	大川原 公明党	山田 公明党	澁谷 ぜんしん		草加 ぜんしん	田中（正） 啓誠会	坂上 啓誠会
庄本 共産党	よつや 無所属	一色 無所属	田中（あ） 市民クラブ	松田 公明党	松山 公明党	おおさこ ぜんしん	たかの ぜんしん		菅野 ぜんしん	浜口 維新の会	江良 維新の会	川村 啓誠会
三好 共産党		村上 無所属	宮本 市民クラブ	森 無所属	山口 公明党	しげひさ 公明党	ぜんしん 牧		前田 維新の会	多田 維新の会	渡辺 維新の会	坂本 啓誠会
佐野 無所属			おくの 市民クラブ						ありめ 維新の会	今泉 維新の会	前島 維新の会	松本 啓誠会

賛成：17名
反対：23名
八木議長（採決に加わらない）

政策提言

令和7年3月議会一般質問で、①地域コミュニティの醸成（国勢調査の負担軽減／公民館の活性化）、②防災対策（食物アレルギー対応／震災体験の継承）、③経済対策がもたらす財政効果（公共施設老朽化対策／産業振興／ふるさと納税）について取り上げ、市と議論しました。

安心安全のまちを創るためには、地域コミュニティが不可欠です。

●国勢調査における自治会の負担軽減を要望

西宮市での国勢調査では、約2,400人の調査員のうち約85％の確保を自治会に頼る仕組みが続いており、負担が重すぎるとして一般質問で見直しを求めました。しかし**市は、自治会の協力が不可欠とし**、インターネット回答の活用などで負担軽減を図ると答弁しました。

●自治会の活性化に向け、加入促進チラシの見直しと自治会支援条例の制定を提案

自治会加入率の低下が進む中、**加入促進や補助制度の導入を盛り込んだ条例の制定を提案**しました。市は、チラシの見直しやアプリによる情報発信を進めると答弁しましたが、**自治会の重要性を認めつつも、条例制定や支援拡充には依然として消極的**です。今後も、実効性ある支援策の実現を求めてまいります。

●公民館の活性化による地域コミュニティの醸成を

公民館の利用者がコロナ禍前に戻らない現状と市民の声を踏まえ、一般質問で**連続講座の導入など事業の見直しを提案しました**。市は、既存講座の補完として導入に前向きな姿勢を示しました。

●公民館への指定管理者制度の拡充を提案

地域の方々で構成される公民館地域学習推進員の確保が難しくなりつつある中、私は公民館への指定管理者制度の導入を拡大し、一層の利便性向上や事業の充実を図るよう求めました。市は導入を進める方針ですが、**23館全館への導入には約10年を要する見通し**です。地域の学びと交流の場を守るため、改革のスピードアップを今後も求めます。

●一般質問の様子は、こちらの動画でご覧いただけます。➡

山口公民館が入る山口センター

令和8年度から、塩瀬・山口・中央の各公民館の運営に、指定管理者制度が導入され、民間企業に運営が委託されます。

防災対策の強化と地域での訓練の活性化を提言。

今年で阪神・淡路大震災から30年となりました。この節目の年にあたり、震災の教訓が風化しつつあることを懸念し、令和7年3月議会の一般質問において、以下の点を市に提言しました。

●災害時の食物アレルギー対応の啓発強化とそれを踏まえた訓練の実施

●動画を活用した阪神・淡路大震災の教訓の継承と訓練を通じた防災体制の再確認

●市民参加型で実効性の高い総合防災訓練の実施

●各小学校区で実施される防災訓練への地域外住民の参加促進

食物アレルギー対応の啓発や、震災を知らない若い世代への動画を活用した啓発について、市は前向きに答弁しました。

●一般質問の詳細はこちらもご覧ください。⇒

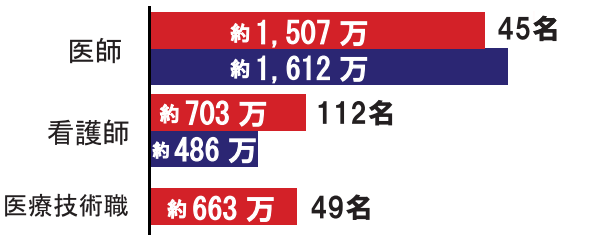
労働組合との交渉だけで決定された異常な厚遇。市立中央病院職員に対する市民不在の「現給保障」に反対しました。

市立中央病院は、県立西宮病院との統合により新設される「西宮総合医療センター（仮称）」の開院に合わせ、令和8年度上半期に閉院される予定です。閉院に伴い、**職員が新病院に転職すると141名の給料は下がる見込みとなっています。市はその差額を5年間にわたって支給する（現給保障）**内容を令和7年度当初予算案に盛り込んだことに、私は反対しました。

そもそも中央病院の給与水準は全国平均より高く（医師を除く）、6年前の統合決定時から、早期に給与水準の格差を是正するよう議会で求めてきました。しかし、**中央病院は議会の指摘を無視**し続け、閉院間際になって、**労使交渉のみでこの厚遇を決定**しました。この「現給保障」に5年間で約4億6,600万円を要すると見込んでいました。さらに市は、長年の赤字で生じた市からの借入金約35億円を返還免除し、**医師以外の職員への退職金を最大約20億円も支払う予定**です。

一事が万事。**このような異常な厚遇を、当然のように認める現在の市政のあり方を根本から見直すべき**だと私は考えています。今後もあきらめずに、市民の皆様とともに行動してまいります。

中央病院（実稼働病床数 151 床）の平均年収と全国の病院（100 ～ 999 床）の処遇（円）



※全国の病院の金額は令和5年賃金構造基本統計調査より算出

元横浜市長の参議院議員（全国比例区）中田 宏環境副大臣と「経済対策と環境保全の両立」について意見交換しました。

●田中:本年3月議会で、目先の財政改革に終始する西宮市に対し、公共施設の老朽化対策やふるさと納税の拡充など、将来の収入増につながる経済対策の推進を提言しました。横浜市長を経験された中田議員の、経済政策に関するお考えをお聞かせください。

●中田議員:私は**「経済があっての財政、財政があっての防衛・教育・福祉」**と考えています。そして、国は、日本の技術力を活かし、国際競争力を高める政策を進めています。**経済対策は国任せでなく、地方も強みを活かして取り組むべきです。**人口減少が進む中、産業や人材の育成が地域の将来を左右します。また、ふるさと納税は、地域の魅力を発信する不断の努力が成果につながると思います。

●田中:西宮市には、産業振興の効果の可視化と数値的根拠に基づく政策推進（EBPM）も提言しました。環境副大臣としてご活躍されている中田議員の、政策効果の可視化についてお考えをお聞かせください。

※昨年の対談時

●中田議員:環境と経済の両立が不可欠で、「脱炭素」は経済成長をもたらします。私は、原子力防災も担当していますが、**資源循環の促進は、経済と資源の自立性を高め、国の安全保障にもつながります。**また、科学的根拠に基づく政策判断は環境政策にも不可欠で、国民に効果を実感してもらうことも重要です。環境学習都市の西宮市こそ、こうした視点で積極的に取り組んで欲しいと思います。

●田中:市民の皆様に政策の効果を実感してもらえるように取り組みたいと思います。ありがとうございました!

TOPICS 市政情報

私たちにとって身近であるべき市政の情報を、少しでも多くの方に知っていただきたいと願い、設置しているコーナーです。

市議会議員の定数（人数）を1名削減することが決定。24年間で通算5名の削減、これが現実です。

■実現する政治、実現までの厳しい道のり。

市議会議員の定数は条例で定められており、改正しても次の選挙からでなければ適用されないため、任期中（4年）に改正できる機会は1回限りです。そして私は、22年前の初当選の際（当時の議員定数は45名）に、議員定数の削減を重点項目に掲げ、一貫して主張してきました。

現在、西宮市は財政改善に向けて、職員数を約5%削減し、人件費の抑制を進めようとしています。そのため、**私の所属する会派「啓誠会」は、議員についても聖域とせず、議会運営委員会での議論において、議員定数も現行の5%にあたる「2名」の削減を主張**しました。しかし、**削減自体に否定的な議員も多く**、昨秋、委員会での議論は打ち切られてしまいました。

そこで、削減に賛同する会派と協議を重ねた結果、**削減を実現することに主眼を置き、過半数の賛同が見込める「1名削減」の改正案を提出**するに至りました。そして、去る3月の本会議で条例改正案が可決され、西宮市議会の定数は41名から40名に削減されることが決まりました。

議会は、市長の追認機関ではなく、市民の声を反映させる場でなければなりません。だからこそ、**市役所主導ではなく、生活者の視点に立ち、機動的かつ是々非々で意思決定できる議会を目指すべき**だと考えています。

残された任期の間、子供たちの世代に誇れる、住みよい西宮を創るために「実現する政治」を貫き行動してまいります。

議員定数削減案に対する全議員の採決態度

（敬称略。黒文字：賛成、白文字：反対）

野口 共産党	中尾 市民クラブ	河崎 市民クラブ	花岡 市民クラブ	大原 公明党	大川原 公明党	山田 公明党	澁谷 ぜんしん		草加 ぜんしん	田中（正） 啓誠会	坂上 啓誠会
庄本 共産党	よつや 無所属	無一色 所属	田中（あ） 市民クラブ	松田 公明党	松山 公明党	おおさこ ぜんしん	たかの ぜんしん	菅野 ぜんしん	浜口 維新の会	江良 維新の会	川村 啓誠会
三好 共産党		村上 無所属	宮本 市民クラブ	森 無所属	山口 公明党	しげひさ 公明党	牧 ぜんしん	前田 維新の会	多田 維新の会	渡辺 維新の会	坂本 啓誠会
佐野 無所属			おくの 市民クラブ	賛成：27名				ありめ 維新の会	今泉 維新の会	前島 維新の会	松本 啓誠会
				反対：13名							
				八木議長（採決に加わらない）							

この記事に対するご質問・ご意見は、nishinomiya@masatake.jpまでお寄せください。

「約束」のかたち：市政報告・意見交換会を開催しています。是非ともご参加ください！

profile

発行責任者

田中正剛　たなか まさたけ

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市会議員事務所に4年間勤務した後、平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選（当時27歳）、現在6期目、総務常任委員会委員

政党:自由民主党（西宮支部長）

■これまでに就任した市議会での主な役職

常任委員会委員長（5回）、特別委員会委員長（4回）、西宮市監査委員、阪神水道企業団監査委員、西宮市議会副議長、

第88代西宮市議会議長（当時41歳）

「市民との対話なくして、真の政策なし。」

このチラシは、活動をご報告するだけでなく、市民の声を伺うきっかけとなる「広聴」のために発行しています。掲載内容以外のことでも、ご意見・情報をぜひお寄せください。

また、市政報告兼意見交換会も、オンラインに対応しながら不定期で開催しています。

開催日程や会場などのご案内は、LINE公式アカウントからもお届けします。ご都合のよい日程でご参加いただけましたら幸いです。

こちらのQRコードをスマートフォンのLINEアプリで読み取って、是非ともご登録下さい。

LINE 公式アカウント

市政に対するご意見・ご要望は、田中まさたけ事務所まで。〒662-0854　西宮市櫨塚町3-4　Crice Nikko西宮304
TEL:0798−22−5172　FAX:0798−22−6172　E-mail: nishinomiya@masatake.jp